

報道関係各位

SC販売統計調査報告 2021-2022年 年末年始販売統計調査報告

前年比 売上高+18% | レジ客数+17% | 客単価+1%

<全体概況>

①全期間(12/28~1/3)・・・前年比 売上高+18% | レジ客数+17% | 客単価+1%

本期間のSC売上高は前年比+18%となった。今期は、前年と比較して新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていたこともあり、売上、レジ客数ともに大きく回復傾向となった。

特に中心地域では前年の落ち込みが大きかった反動もあり、売上は前年比+26%(2ページ①表参照)となった。県を跨る移動制限がなかったため、大都市では広域移動を伴う来客に回復傾向が見られ、繁華街立地を中心に賑わいの戻りが見られた。また、前年は帰省を自粛するムードが強かったが、今期は青森、金沢、岡山などの中都市では二年振りに帰省客で賑わったSCが多かった。

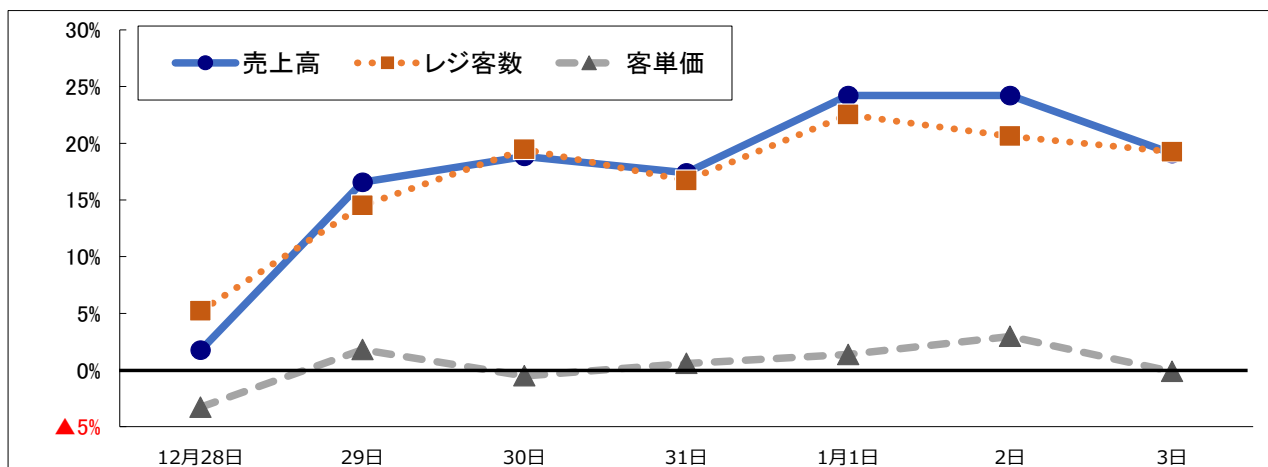
業種では、飲食が好調だった。緊急事態宣言等の発出がなく、アルコール提供含め通常営業できたことにより、前年は自粛した忘年会・新年会を少人数で行う姿が多く見られた。フードコートもファミリー客を中心に賑わった。帰省客の増加によりお土産も好調だった。また、年末にかけての気温低下に伴い、衣料品はアウターなど高単価の重衣料がけん引し売上げを伸ばしたが、一方で、商品確保に課題も残り、1月にバーゲン品が欠品となったテナントは伸び悩んだ。

②年末(12/28~12/31)・・・前年比 売上高+14% | レジ客数+14% | 客単価+0%

年末の売上高は前年比+14%、レジ客数も同+14%で、客単価はほぼ前年並みとなった。前年同期間と比べ、外出や帰省が活発化し、来館者数が増加した。また、前年に売上を伸ばした年末年始用の生鮮食品やおせち料理は、コロナ下における巣ごもり需要の定着もあり、前年同様好調であった。ただし、日別で見ると、28日(火)は売上高が前年比+2%、レジ客数は同+5%に留まった。これは、都市部のSCでクリスマス期の24日(土)・25日(日)に売上が集中したことや、25日(土)から28日(火)にかけて日本海側を中心に広い範囲で記録的な大雪となったことが影響したと考えられる。

③年始(1/1~1/3)・・・前年比 売上高+22% | レジ客数+20% | 客単価+2%

年始の売上高は前年比+22%と前年を大きく上回った。前年は年始めに感染者が急増し外出自粛ムードが見られたが、今期は、新春イベントや福袋販売といった販促施策を感染対策に配慮しながら実施したSCも多く、前年より大幅に客数を増やし、前年比を伸長する結果となった。購入意欲の高まりにより、食料品などでも高額品の売行きがよく、客単価増に繋がった。また、前年大幅に減少した初詣客の戻りもあり、飲食を中心に賑わいが見られた。



	期間別			日別						
	全期間	年末	年始	年末			年始			
	28日-3日	28日-31日	1日-3日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日
売上高	18%	14%	22%	2%	17%	19%	17%	24%	24%	19%
レジ客数	17%	14%	20%	5%	15%	19%	17%	23%	21%	19%
客単価	1%	0%	2%	▲3%	2%	▲1%	1%	1%	3%	▲0%

以上

この件に関するお問い合わせは 情報企画部:金田・菰田・高田
TEL:03-5615-8524

※お手数をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りいたしますようお願い申し上げます。掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

広報担当: 村松・浅田・安倍

Tel. 03-5615-8524 / Fax 03-5615-8539
Mail. pr@jcsc.or.jp